



米づくり体験学習感謝の集い(5年生)

2月5日(水)5校時(参観日の授業)に、5年生が、「米づくり体験学習感謝の集い」を行いました。総合的な学習の時間に、もみまきや田植え、稲刈りなどをしてきましたが、今年度で一区切りとなります。これまで21年間、田を貸していただき、稲のお世話までして下さった地域の方が、ご高齢のため、残念ではありますが、今年度で終了となりました。

そこで、5年生の子どもたちが、これまでの感謝の気持ちを表したいという思いから、お世話になった地域の方を招いて、集会を計画、実行したということです。

この1年間で学習したことを伝えたり、この学習が始まったきっかけを劇で表したりしました。卒業生からの米づくりに関するメッセージも伝えました。収穫した米で作った甘酒やしょう油もちも味わっていただきました。さらに、リコーダー演奏を披露して感謝状をお渡ししました。潮見小学校で米作りを経験した子どもたちの代表としてが、できることを最大限表現していました。



米作りでお世話になった地域の方々は、子どもたちが学習した内容を感慨深げにご覧になっていました。長い間、潮見っ子のためにご尽力いただき、本当にありがとうございました。来年度以降は、県内や地域の課題でもある防災について学習を進めていく予定です。

- 【卒業生からの感謝のメッセージ】
- ㊦ 友達と協力して米作り体験ができたことが思い出です。長い間、米作りについて教えてくださり、ありがとうございました。
 - ㊦ 初めて米作りをしてみて、今まで毎日食べていたお米を作る大変さやありがたさがよく分かりました。今は器械があるけれど、昔は機械などはなくて、とても時間と労力を使う作業をしていたことを知り、すごいと思いました。



学校評議員会について

参観日に、学校評議員会も行いました。地域、保護者、学校の代表が集まり、学校評価に関することやコミュニティ・スクールのこと、日頃の子どもたちの様子などについて話し合いました。地域の方々も、潮見小学校の教育活動に協力的ですので、今後も力をお借りながら「ふるさと潮見」を誇りに思える子どもたちを育てていきたいと思っております。授業参観を通して、子どもたちがこの1年間で成長した姿、地域を大切にしている様子を見ていただきました。学習をしている潮見っ子の様子を、絵が出語られていました。学校評議員の皆様、ありがとうございました。

